

6. これまでの成果と課題

これまで 10 年間、いなみ野ため池ミュージアムは「体制づくり」「人づくり」「魅力づくり」「企画開発」「普及啓発」を柱として推進し、一定の成果が見られます。

(1) 成果

ミュージアムに関わる組織（ため池協議会）が増加し、活動を支援する団体等との協働も実施してきました。

様々な水辺保全活動・イベントが展開され、ため池管理者とともに清掃活動やかいぼりなどへの参加者が増加し、ため池保全や生物多様性への意識も高まってきました。

ため池協議会においても、年間行事の定例化や活動資金を自ら確保するなど地域の実情に応じた協議会活動へと展開しています。

また、ため池を舞台とする環境体験学習や先人の知恵と苦労を郷土学習として学習する次世代も増加しています。

(2) 「いなみ野ため池ミュージアム」のこれから

10 年の年月を経て、「いなみ野ため池ミュージアム運営協議会」という体制は出来上がりました。しかし、基盤となるため池協議会に関係するため池の数は約 180 カ所で、東播磨の総ため池数の約 3 割にすぎません。今後もため池協議会の組織化を進めていく必要があります。

また、持続可能な体制が築かれるのか、個々のため池協議会も次代への継承がこれからの大きな課題ではないでしょうか。そのためには、このネットワークを最大限に活用し、多様な主体の参加を得ながら交流し、水辺の地域づくりを進めていくことが求められています。

この地での地域づくりがはじまってからまだ 10 年です。地域づくりに到着駅はありません。まだまだ若い「いなみ野ため池ミュージアム」。これからもっともっと成長していかなければなりません。

○活動組織数 ため池協議会
4 組織(2002 年度)→58 組織(2011 年度)
参画団体(企業及び実践活動団体等)
8 団体(2002 年度)→19 団体(2011 年度)

○活動支援体制
キュレーター(大学教授等)・
インストラクター(実践活動家)
登録者数 63 人(2003 年度)
→235 人(2011 年度)
派遣人数 87 人(2003 年度)
→122 人(2010 年度)

○水辺の活動・イベント数
49 回・約 5,800 人(2003 年度)
→265 回・約 64,000 人(2010 年度)

○ため池クリーンキャンペーン数
25 カ所(2008 年度)→42 カ所(2010 年度)

○かいぼり数
41 カ所(2008 年度)→87 カ所(2010 年度)

○次世代の参加
(水をもとめて読書感想文コンクール参加者数)
448 人(2010 年度)→1,390 人(2011 年度)